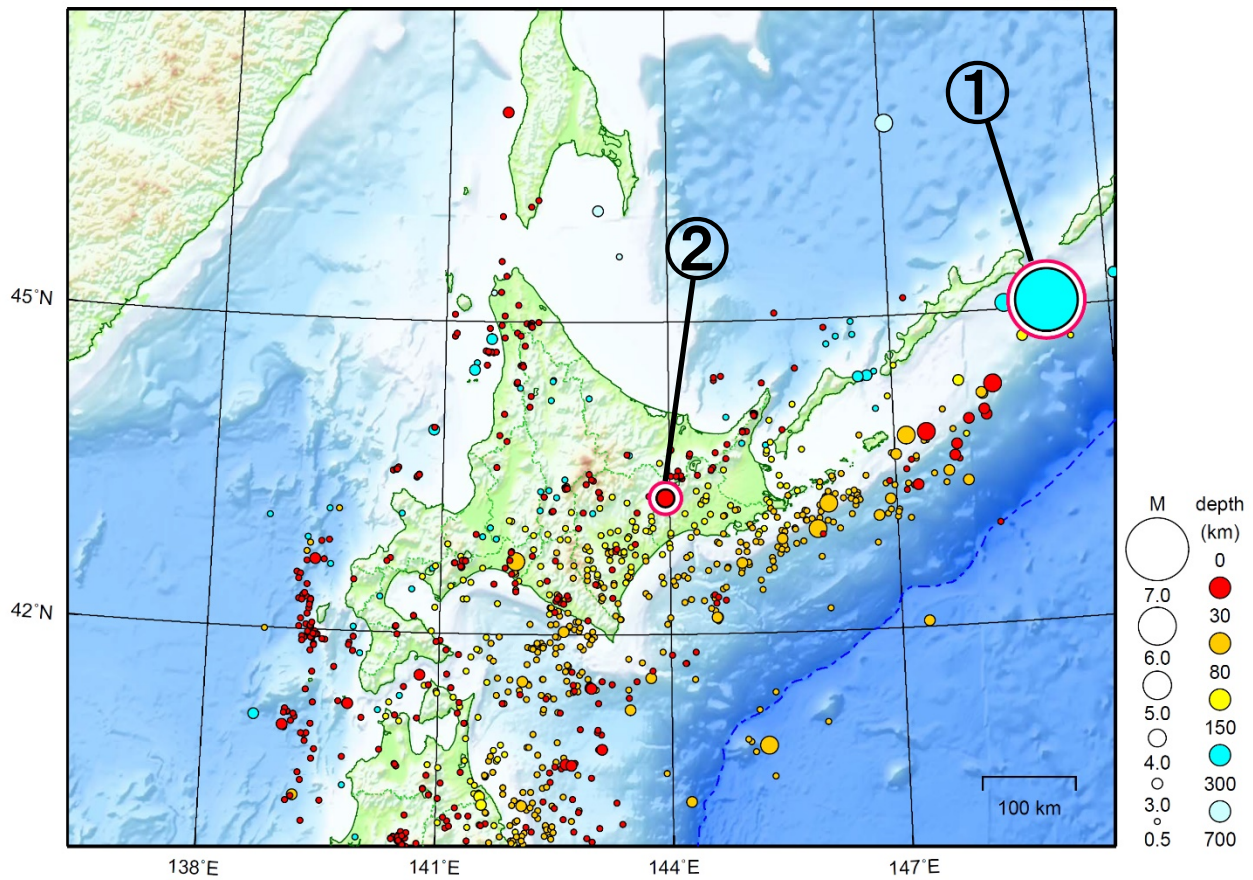


北海道地方

2020/02/01 00:00 ~ 2020/02/29 24:00

N=1016



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 2月13日に択捉島南東沖でM7.2の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 2月20日に釧路地方中南部でM4.6の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

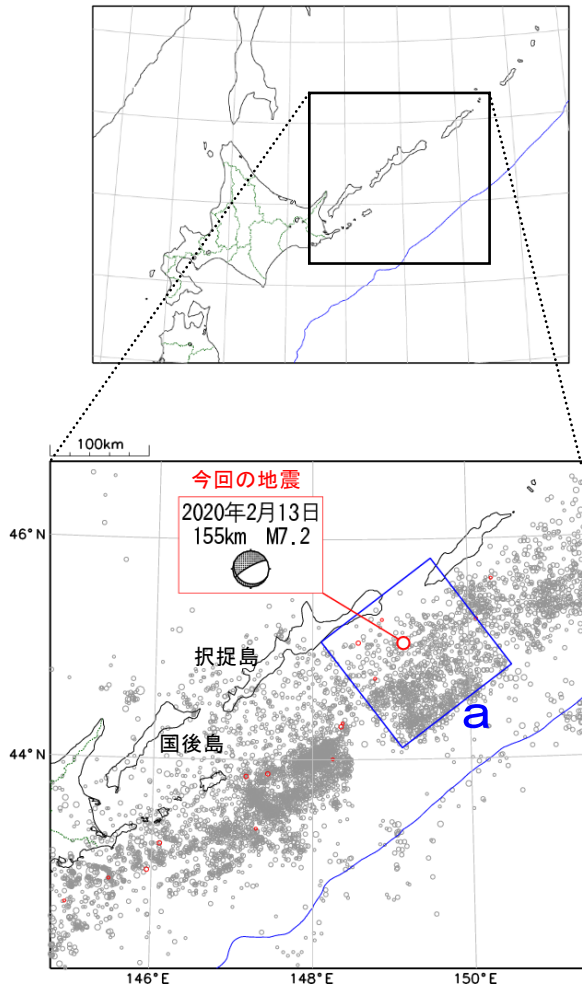
気象庁・文部科学省

2月13日 択捉島南東沖の地震

震央分布図

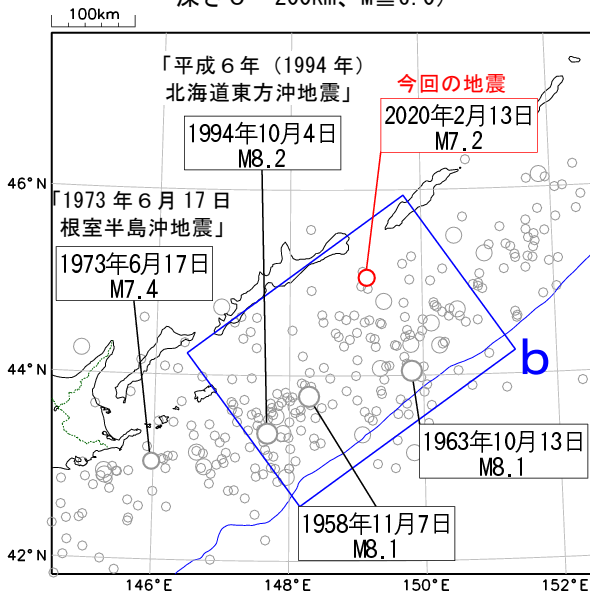
(2001年10月1日～2020年2月29日、
深さ0～200km、 $M \geq 3.5$)

2020年2月の地震を赤で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1919年1月1日～2020年2月29日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)

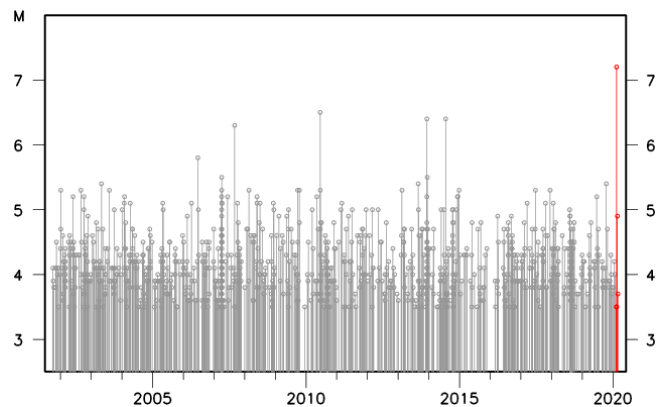


2020年2月13日19時33分に択捉島南東沖の深さ155kmでM7.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北西-南南東方向に張力軸を持つ型である。

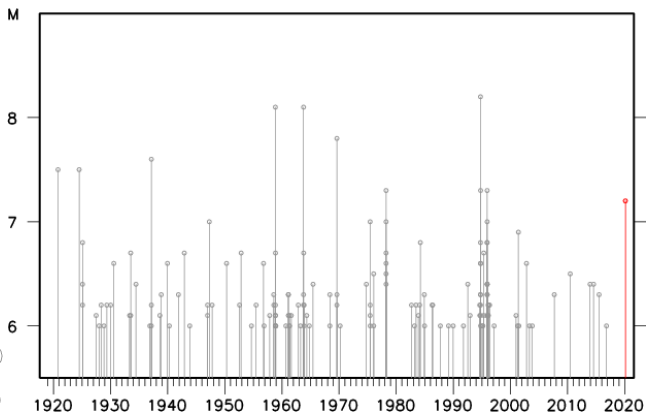
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が今回含め5回発生しており、M7.0を超える地震が発生したのは今回が初めてである。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M8.0以上の地震が3回発生している。最大規模の地震は1994年10月4日の「平成6年（1994年）北海道東方沖地震」（M8.2、最大震度6）で、北海道では負傷者436人、住家全半壊409棟などの被害が生じ（「災害記録 北海道」による）、根室市花咲で168cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。

領域a内のM-T図

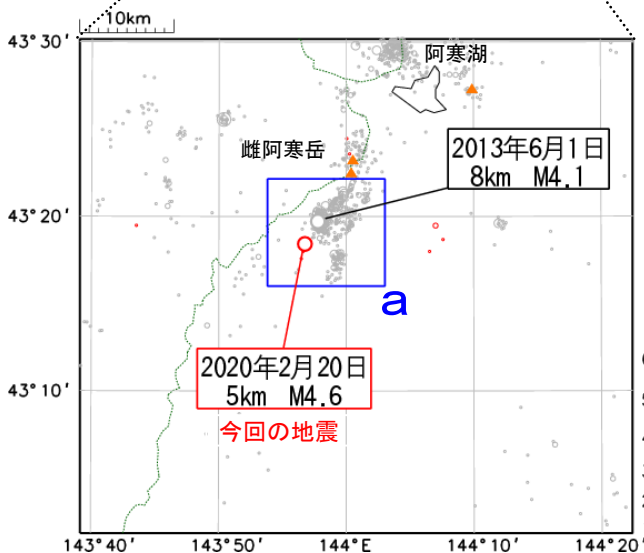
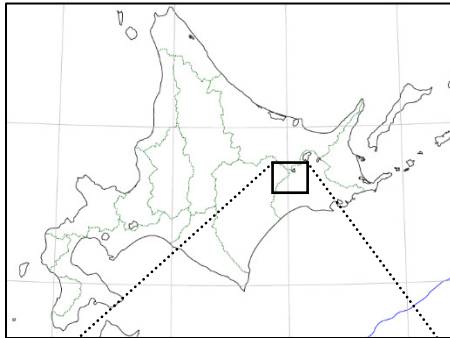


領域b内のM-T図



2月20日 釧路地方中南部の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2020年2月29日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.0$)
2020年2月の地震を赤で表示



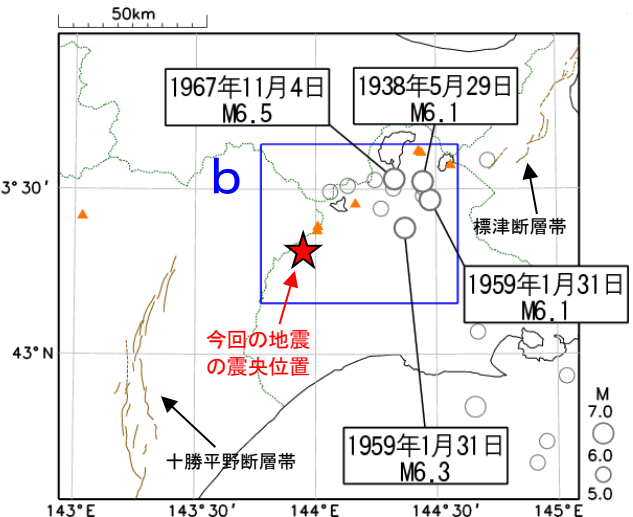
図中の▲は活火山を示す。

2020年2月20日00時50分に釧路地方中南部の深さ5kmでM4.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震は地殻内で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、2013年6月1日にM4.1の地震（最大震度3）が発生している。

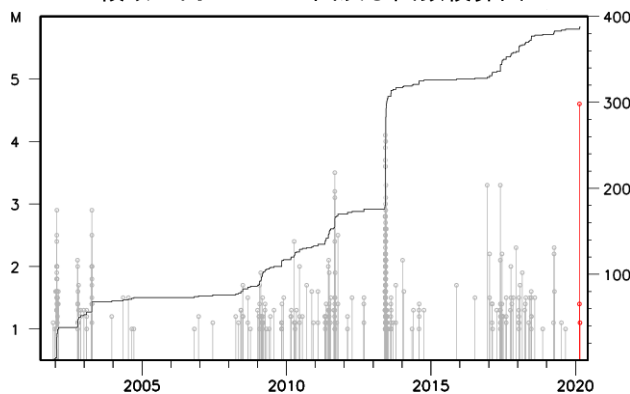
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0を超える地震が4回発生している。1967年11月4日にはM6.5の地震（最大震度4）が発生し、負傷者2人、家屋半壊1棟、一部破損8棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図
(1919年1月1日～2020年2月29日、
深さ0～30km、 $M \geq 5.0$)



図中の茶線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

